

これからも、 ずっと家族のように。

～おかげさまで、ファミリーマートは30周年～



1981年



2011年



株主の皆さま、こんにちは。日頃よりファミリーマートをご支援賜りまして、誠にありがとうございます。

ここに、当社第31期中間報告書（2011年3月1日から同年8月31日まで）をお届けするにあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

2011年11月

代表取締役社長 上田 準二

第2四半期まで（上期）の状況

今上期は、東日本大震災の被災地におけるチェーン機能の復旧と、その後の復興を最優先に、お客さまがコンビニエンスストアに求められる役割・機能を果たすべく全力を挙げて取り組んでまいりました。

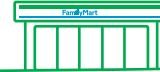
そのためにも、真っ先に取り組むべきこととして、ファミリーマートの財産である加盟店、加盟者の皆さまの生活基盤・生活環境の安定を図りました。フランチャイズ契約上のコスト負担は度外視し、震災発生直後から人的・経済的加盟店支援を最大限実施してまいりました。また、義援金活動では国内はもちろん、海外のお客さまからも多くの義援金や応援のメッセージを頂戴いたしました。義援金の総額は13億円を超える規模となり、順次、被災地に寄付させていただきました。この場をお借りいたしまして、厚く御礼申し上げます。

この震災において、私たちファミリーマートチェーンは地域の方々にとって“なくてはならない存在”としてクローズアップされ、社会インフラとしての役割をしっかりと果たすことができました。その結果、お客さまや行政から大変な感謝や励ましのお言葉も頂戴いたしました。

一方、創立30周年にあたり「ファミリーマートらしさ」の発想のもと、地域のお客さまに「つながり」を感じていただけるように「みんなと ファミリー。」をスローガンとして、各種の記念施策を展開し、「気軽にこころの豊かさ」を感じていただけるお店づくりに邁進しております。

店舗展開におきましては、三大都市圏と地方都市を中心とした成長性の高い店舗の出店に加え、マーケットの変化に対応したB&S（ビルド&スクラップ）を適宜実施する

元気、
勇気、
夢！



ことで、高質な店舗網の構築を進めてまいりました。また、4月の株式会社エー・エム・ピー・エム・関西との合併を受け、6月より関西地区におけるam/pm店のブランド転換を開始し、転換後の日商も想定以上の高い伸び率となっております。

海外ではアジアを中心に海外各地域において、中食の強化や、S&QCの徹底を継続的に取り組んでまいりました。

台湾、韓国、タイをはじめとする既存地域においては、店舗数・利益ともに拡大する一方で、6月には、新地域のベトナムにおいても現地企業との合併会社であるVI NA FAMILYMART CO., LTD.を設立いたしました。今後、同社を通じて事業展開を進めてまいります。

その結果、第2四半期末のファミリーマートチェーン店舗数（単体）は、7,916店舗となり、国内エリアフランチャイザー4社を含めた国内店舗数は8,568店舗となりました。また、海外エリアフランチャイザーでは、台湾、韓国、タイ、中国、アメリカおよびベトナムにおいて、合わせて10,290店舗となり、国内外合わせた総店舗数は18,858店舗となりました。

これらにより、第2四半期までの連結業績につきましては、営業総収入は167,570百万円（前年同期比2.7%増）、営業利益は24,589百万円（同12.2%増）、経常利益は25,719百万円（同12.7%増）となり、営業利益・経常利益において前年同期比2ケタ増の過去最高益を達成いたしました。また、資産除去債務会計基準の適用による影響額や東日本大震災の発生に伴う損失等の計上により四半期純利益は7,655百万円（同32.3%減）となりました。

第3四半期以降（下期）の取組み

当社は、この9月1日に30周年を迎えました。地域の多くのお客さまに支えられた結果、これまでに国内外合わせて18,800店を超え、店舗規模においては世界第2位のCVSチェーンとなりました。来年度にはグローバル20,000店達成がほぼ確実なものとなります。

下期以降もファミリーマートのブランド力をさらに高めべく、売場づくりや接客という小売業の基本を徹底して

まいります。そして客数の引上げと客単価アップの両者のバランスを取りながら、売上向上を図るとともに、30周年記念施策の実施や「おとな世代」をはじめターゲット戦略の継続による新たな顧客層の獲得にも取り組んでまいります。

特に商品面における取組みとしましては、第5の重点商品カテゴリーとして立ち上げた「惣菜・サラダ」の新たなブランド『彩りfamimaDELI』を通じて、健康志向や内食需要の取込みを図ってまいります。

そして、昨年度より全社を挙げて取り組んでまいりましたam/pmとのブランド統合につきましても、いよいよゴールが見えてまいりました。残りの首都圏・関西におけるam/pmも年度内に転換し、これにより、首都圏・関西・九州合わせて約720店全ての転換が完了いたします。

一方、海外においては、経済発展を続ける巨大市場の中国が今後の規模拡大の中心になります。上海・蘇州・広州の3都市で今期末850店を上回る計画にあり、日系コンビニエンスNo.1チェーンとして内陸部への展開も進めてまいります。先行地域での店舗段階黒字化を図りながら、2016年2月期末4,500店規模を目指してまいります。

このように今期も国内外ともに店舗規模の拡大を推進し、今期末における総店舗数は国内8,763店（エリアフランチャイザー含む）と海外10,737店を合わせて、19,500店を計画しております。

これらの結果、2012年2月期の連結業績見通しにつきましては、期初に公表した計画を上方修正し、営業総収入は325,000百万円（前年同期比1.6%増）、営業利益は42,100百万円（同10.1%増）、経常利益は44,200百万円（同10.8%増）、当期純利益は15,000百万円（同16.8%減）を計画しております。

配当につきましては、連結配当性向40%を目処に取り組んでおり、このたびの業績見通しの上方修正を踏まえ、第2四半期末の配当金を4円増額の一株当たり40円とし、2012年2月期末の配当金を同じく4円増額の一株当たり40円と予定しております。これにより7期連続の増配となります。

今後とも株主・投資家の皆さまにおかれましては、宜しくご支援賜りますようお願い申し上げます。



ファミリーマートは創立30周年を迎えました。 これからも、ずっと家族のように。「つながり」を合い言葉に、

1981年の創業以来、30年という時を経て、街のなかに根付き、暮らしを支える存在となったファミリーマート。東日本大震災の経験を受け、改めてファミリーマートチェーンの社会的役割の重要性を認識いたしました。今後も社会インフラとして地域で、そして世界中でお客さまとともに歩み、「気軽にこころの豊かさ」を感じていただける活動を進めてまいります。

地域と つながる。

Green & Cleanプロジェクト

創立30周年を機に、「つながり」を象徴的に表現し、環境への取組みを通じて地域社会に貢献する活動「Green & Cleanプロジェクト」を展開しております。全国のファミリーマートで地域のお客さまとの絆づくりを推進しております。



Green&Clean'Project



「Green」店頭に緑（プランター）を設置



「Clean」街をきれいに
するための清掃活動



「Clean」お客さま参加型の
打ち水

世界と つながる。

海外10,000店を達成

ファミリーマートは、2011年7月に海外店舗数10,000店を達成いたしました。“日本発祥のコンビニエンスストア”として、これからも世界中で「ホスピタリティ」あふれる店舗づくりを進めてまいります。



詳細は7ページ ➡

時を超えて つながる。

30周年記念復刻キャラクター登場

30周年記念企画の一環として、「～ありがとう30周年!～ファミマ大感謝祭キャンペーン」を期間限定で実施し、懐かしのロドニーキャラクターとコラボした商品を発売しました。感謝の心を大切に、これからもお客さま一人ひとりと強く深くつながりたい、そんな気持ちを復刻キャラクターに込めております。



「元気、勇気、夢！」をお届けしてまいります。

社会と つながる。

被災地への支援

2011年6月に福島県川俣町と「東日本大震災復興支援連携協定」を締結し、雇用支援と買物不便の解消、コミュニティ支援の一環として仮設住宅敷地内に仮設店舗を出店したほか、同年9月から4つの温度帯※の商品の販売設備を搭載した移動コンビニ「ファミマ号」を岩手県、福島県、宮城県を中心に稼働いたしました。被災地で生活されている皆さまが少しでも快適に暮らせるよう、また、地域のコミュニケーションの場をご提供できるよう支援を続けてまいります。

※常温（加工食品、菓子、日用品など）、定温（おむすび、寿司、弁当）、冷蔵（サラダ、スパゲティ、日配食品など）、冷凍（アイス、冷凍食品など）



上田社長と川俣町の古川町長



川俣町店

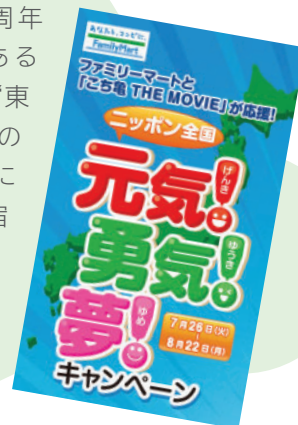


ファミマ号

お客さまと つながる。

ニッポン全国 元気！勇気！夢！キャンペーン

創立30周年企画であるこのキャンペーンでは、“東北地方の復興支援策”の一環として、懸賞の賞品に東北地方の温泉旅館の宿泊券や名産品などを積極的に取り入れました。



©Rodney A. Greenblatt/I.P

詳細は5ページ ➡



こだわり商品情報

懐かしの“ロドニーキャラ”達が期間限定で復活

2011年9月1日に創立30周年を迎えるにあたり、「～ありがとう30周年!～ファミマ大感謝祭キャンペーン」を8月23日から9月19日まで実施いたしました。1998年にファミリーマートのイメージキャラクターとしてご好評をいただいた、ロドニー・グリーンブラット氏がデザインした当時の6キャラクターが復活、さらに新キャラクターを加え、ロドニーコラボ商品として合計14種類を発売いたしました。



©Rodney A. Greenblat/I.P.

おでん つゆで作る

麺シリーズ

お好みで、おでんだねを追加し、麺と一緒に召し上がってください。

ラーメン

おでん専用

1玉 120円
2玉 240円

うどん

おでん専用

1玉 100円
2玉 200円

そば

おでん専用

1玉 120円
2玉 240円

※表示価格は麺のみの価格です。具材代は含まれておりません。

ご注文方法

おでん容器につゆを入れる

お好みの具を選ぶ!

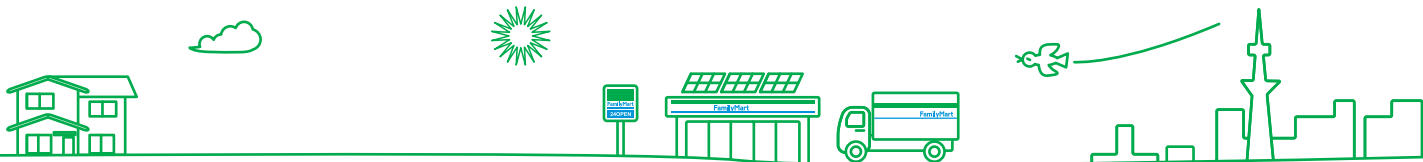
お好みの「麺」をレジで注文!

約1分後…完成!

スタッフが凍めた麺を容器に入れてくださいます。

あわせて楽しむ今年の「つゆだくおでん」

昨年ご好評をいただいた「おでんうどん」に加え、おでん麺シリーズに「おでんそば」「おでんラーメン」を追加し発売いたしました。これらのおでん麺に、おでんの具やフライヤー商品をお好みにトッピングしていただくなど、バラエティに富んだおでんの食べ方をご提案してまいります。



新ブランド『彩りfamima DELI』登場

消費者の内食ニーズと質へのこだわりに応じて、ファミリーマートオリジナルの新しいブランド『彩りfamima DELI』がデビューいたしました。「デパ地下デリ」や「ダイニング居酒屋」を感じさせる惣菜・サラダをコンセプトに、「家で作るよりおいしい定番メニュー!自分で作れない新しい創作メニュー!」の提供を目指します。

1/2日分の野菜が摂れるシチュー

コクがあってもサラリとした食感の野菜の旨みが溶け出すスープと、ゴロゴロのじゃがいも、にんじん、ブロッコリー、キャベツ、玉ねぎ、コーンの相性が抜群のシチューです。



ロールキャベツ

ご家庭では手間がかかるロールキャベツ。肉と野菜が入ったジューシーな具材を、1つ1つ手作りで丁寧にキャベツを巻きました。



1/3日分の野菜が摂れるチョップドサラダ

大根やにんじんなどの野菜を細かく刻むことで食べ易く、また生野菜とゆで野菜をあわせることで、様々な食感が楽しめるサラダです。



彩り famima DELI

ビーフシチューグラタン

じっくりと煮込んだデミソースをベースに使用した、濃厚な味付けが特徴の本格的なグラタンです。



海老マヨと5種野菜のサラダ

人気の海老マヨとシャキシャキのフレッシュ野菜、マカロニサラダが一度に楽しめる、お買い得感のあるサラダです。



CM出演中!!



近賀ゆかり選手
(INAC神戸レオネッサ所属)

大野忍選手
(INAC神戸レオネッサ所属)

澤穂希選手
(INAC神戸レオネッサ所属)

川澄奈穂美選手
(INAC神戸レオネッサ所属)

海堀あゆみ選手
(INAC神戸レオネッサ所属)



グローバルに広がる店舗網

国内では三大都市圏と地方都市を中心として成長性の高い店舗の出店を推進し、高質な店舗網の構築を図る一方、業界ナンバーワンの出店数を誇る鉄道(駅)、高速道路、病院、オフィスビル等のニューマーケットへの積極的な出店を進めております。また海外においては、2011年7月に10,000店を達成しました。

海外ファミリーマート10,000店を達成

台湾の海外第1号店(1988年)を皮切りに、韓国(1990年)、タイ(1993年)、中国(2004年)、アメリカ(2005年)、ベトナム(2009年)と出店地域を拡大し、このたび2011年7月末に海外店舗数が10,000店を達成いたしました。世界各地で「ホスピタリティ」あふれる店舗づくりを推進して、現地のお客さまのご支持をいただいてまいりましたが、今後も成長戦略の一環として海外出店を加速させ、2012年度には国内外20,000店、2020年度には40,000店の達成を目指してまいります。



中国 661店



タイ 653店



ベトナム 8店

- 株式会社ファミリーマート 7,916店
- 国内エリアフランチャイザー 652店
- 海外エリアフランチャイザー 10,290店

ファミリーマートチェーン国内地域別店舗数

●北海道/47	●福島/117	●東京/1,556	●山梨/65	●滋賀/116	●鳥取/39	●香川/80
●青森/34	●茨城/172	●神奈川/629	●長野/47	●京都/172	●島根/41	●愛媛/87
●岩手/100	●栃木/119	●新潟/53	●岐阜/88	●大阪/736	●岡山/95	●高知/33
●宮城/201	●群馬/91	●富山/70	●静岡/196	●兵庫/305	●広島/169	●福岡/353*
●秋田/48	●埼玉/437	●石川/74	●愛知/444	●奈良/53	●山口/36	●佐賀/54*
●山形/87	●千葉/368	●福井/90	●三重/124	●和歌山/64	●徳島/51	●長崎/142*

※JR九州リテール株式会社が展開するファミリーマート店舗(福岡県:71店舗、佐賀県:4店舗、長崎県:4店舗、熊本県:13店舗、大分県:17店舗)を、店舗数に含めております。

韓国 6,215店



アメリカ 9店



日本 8,568店



台湾 2,744店



ファミリーマートチェーン店舗数

国内店舗数 8,568店
海外店舗数 10,290店

合計 18,858店

(2011年8月31日現在)

※上記店舗数には、株式会社ファミリーマートが展開するam/pm店舗113店は含めておりません。

東北地方への出店を強化

被災地のお客さまの利便性向上のため、東北6県への出店を強化いたします。

このため、短期間に低コストで施工できる「ユニット式仮設店舗」を導入します。また、被災された方が加盟を希望される場合、加盟金等を免除するなどの支援を行うほか、被災加盟者への支援として、住居を併設した店舗の出店も予定しております。

名古屋鉄道と基本契約を締結

2011年3月、名古屋鉄道株式会社と、名鉄沿線における生活サービス向上と地域活性化を目的として、「ファミリーマート エスタシオ」を展開することに合意し、基本契約を締結いたしました。「名古屋国際空港アクセスプラザ内店」を皮切りに、今後5年間で50店舗の出店を目標としてまいります。



セントレアホテルプラザ店

近畿日本鉄道のam/pm店舗のファミリーマートへの転換

近畿日本鉄道株式会社が運営するam/pm店からファミリーマート店への転換1号店として「ファミリーマート近鉄京都駅店」を開店いたしました。

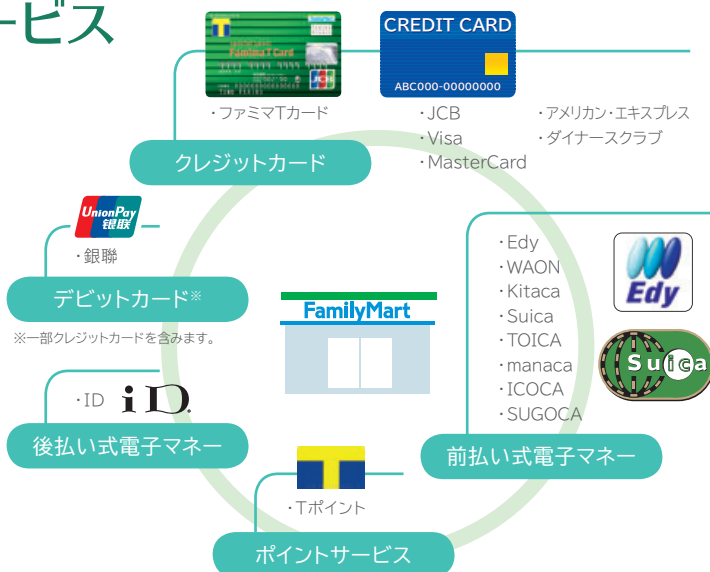
- 熊本／112※
- 大分／77※
- 宮崎／83
- 鹿児島／206
- 沖縄／207



お客さまニーズに応えるサービス

決済方法がより多様に！

2011年11月下旬より、「JCB」「Visa」「MasterCard」「アメリカン・エクスプレス」「ダイナースクラブ」のクレジットカード決済の取扱いを全国のファミリーマート店約8,500店で開始いたします。また、2012年1月中旬を目処に「銀聯カード」による決済の取扱いを、訪日中国人観光客のご来店が見込める約100店で開始いたします。お客さまの決済方法の幅を広げるにより、お買い物の利便性を一層高めてまいります。



店舗を通じた社会貢献への取組み

義援金の募金活動

東日本大震災の被災地への募金活動に、日本のみならず海外の店舗のお客さまからも多大なるご協力をいただいております。2011年3月11日から同年8月31日までの義援金募金の総額は13億6,353万7,294円※1となり、順次被災地へ寄付させていただきました。

また、ファミリーマートからは、義援金として、東北4県に対し合計1億円を寄付いたしました。

※1 義援金総額には、対象商品の売上の一部を寄付するなどのキャンペーンによる義援金も算入しております。

東日本大震災義援金

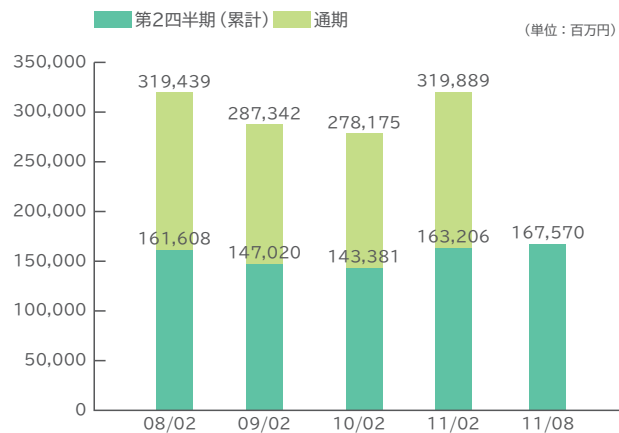
義援金の内訳	義援金総額	寄付先
店頭募金	6億7,867万4,032円	日本赤十字社、青森県、岩手県、宮城県、福島県
Famiポート募金	4億9,644万5,500円	日本赤十字社、あしなが育英会、社会福祉法人中央共同募金
グローバル募金 ※2	6,419万1,360円	日本赤十字社
キャンペーンによる義援金	1億2,422万6,402円	日本赤十字社、岩手県、宮城県、福島県
ファミリーマート企業義援金	1億円	青森県、岩手県、宮城県、福島県

※2 台湾、タイ、ベトナム、中国、アメリカにおける店頭募金、社員募金等

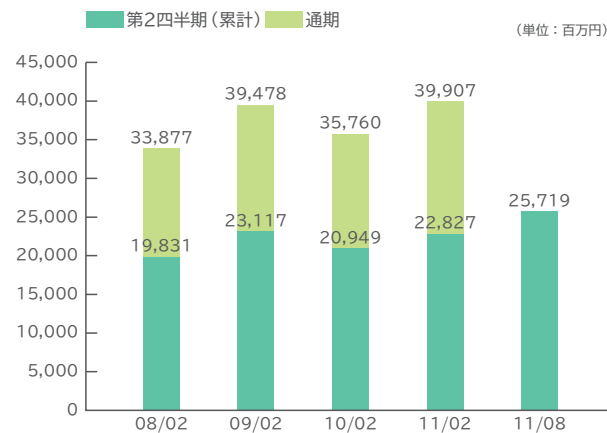
業績の推移 (連結)



■営業総収入

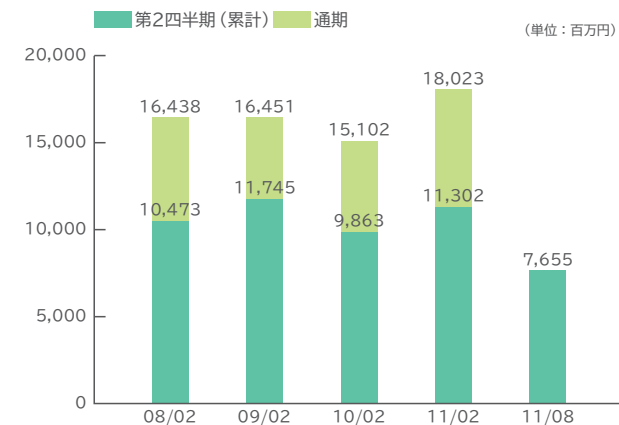


■経常利益

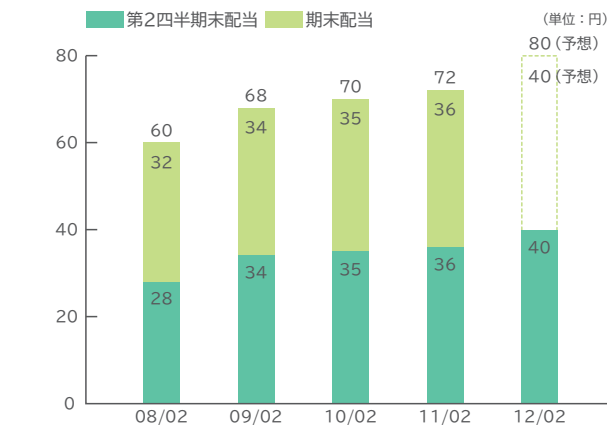


※2009年2月から株式会社ファミマ・ドット・コム(連結子会社)において、「ソフトウェア取引の収益の会計処理に関する実務上の取扱い」(企業会計基準委員会 平成18年3月30日 実務対応報告第17号)の趣旨に鑑み、委託契約取引に係る売上高を従来の総額表示から純額表示に変更しております。

■四半期 (当期) 純利益



■1株当たり配当金



7期連続の増配となりました。

四半期連結財務諸表

四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期連結会計期間末 (2011年8月31日現在)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (2011年2月28日現在)	科 目	当第2四半期連結会計期間末 (2011年8月31日現在)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (2011年2月28日現在)
【 資 産 の 部 】			【 負 債 の 部 】		
流動資産			流動負債		
現金及び預金	86,509	95,032	支払手形及び買掛金	81,185	71,169
加盟店貸勘定	8,402	13,139	加盟店借勘定	7,216	5,928
有価証券	55,859	4,522	未払金	22,233	21,944
商品	7,782	7,784	未払法人税等	1,188	1,304
未収入金	29,228	35,037	預り金	69,990	63,966
その他	37,233	51,371	災害損失引当金	1,269	—
貸倒引当金	△ 274	△ 553	その他	13,873	13,186
流動資産合計	224,742	206,334	流動負債合計	196,957	177,500
固定資産			固定負債		
有形固定資産			リース債務	24,430	19,964
建物及び構築物（純額）	31,333	27,884	退職給付引当金	7,155	6,846
工具、器具及び備品（純額）	34,903	27,547	長期預り敷金保証金	10,228	10,390
土地	14,160	14,124	資産除去債務	11,534	—
その他（純額）	4,062	3,608	その他	3,801	4,351
有形固定資産合計	84,460	73,165	固定負債合計	57,150	41,553
無形固定資産	16,250	14,527	負債合計	254,108	219,054
投資その他の資産			【 純 資 産 の 部 】		
投資有価証券	26,893	23,288	株主資本		
敷金及び保証金	107,103	106,242	資本金	16,658	16,658
その他	18,943	15,275	資本剰余金	17,389	17,389
貸倒引当金	△ 2,899	△ 2,799	利益剰余金	191,782	187,544
投資その他の資産合計	150,041	142,007	自己株式	△ 8,741	△ 8,739
固定資産合計	250,752	229,699	株主資本合計	217,089	212,852
資産合計	475,494	436,034	評価・換算差額等		
			その他有価証券評価差額金	304	240
			為替換算調整勘定	△ 3,274	△ 3,527
			評価・換算差額等合計	△ 2,969	△ 3,287
			少数株主持分	7,265	7,413
			純資産合計	221,385	216,979
			負債純資産合計	475,494	436,034

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。



四半期連結損益計算書（要約）

（単位：百万円）

科 目	当第2四半期連結累計期間 （自2011年3月 1日） 至2011年8月31日）	前第2四半期連結累計期間 （自2010年3月 1日） 至2010年8月31日）
営業収入	110,385	105,271
加盟店からの収入	95,614	91,838
その他の営業収入	14,770	13,433
売上高	57,185	57,934
営業総収入	167,570	163,206
売上原価	40,132	40,522
営業総利益	127,437	122,683
販売費及び一般管理費	102,848	100,766
営業利益	24,589	21,916
営業外収益	1,535	1,241
営業外費用	405	329
経常利益	25,719	22,827
特別利益	2,046	180
特別損失	14,408	2,899
税金等調整前四半期純利益	13,356	20,108
法人税等	4,928	8,208
少数株主損益調整前四半期純利益	8,428	—
少数株主利益	772	597
四半期純利益	7,655	11,302

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

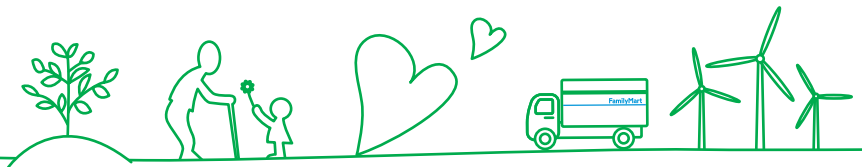
四半期連結キャッシュ・フロー計算書（要約）

（単位：百万円）

科 目	当第2四半期連結累計期間 （自2011年3月 1日） 至2011年8月31日）	前第2四半期連結累計期間 （自2010年3月 1日） 至2010年8月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー	54,225	52,785
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 8,677	△ 17,312
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,392	△ 8,654
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 67	△ 455
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	40,088	26,364
現金及び現金同等物の期首残高	95,486	85,161
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	702	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	136,276	111,525

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

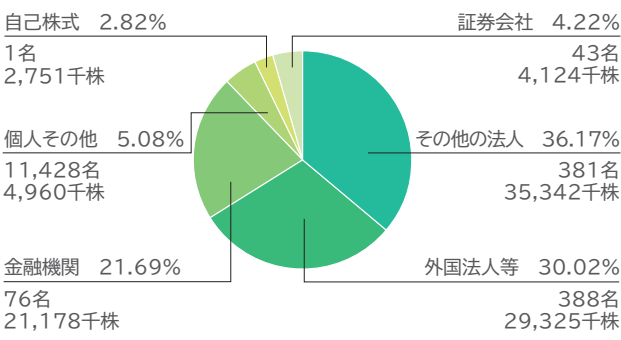
株式の状況（2011年8月31日現在）



株式の状況

発行可能株式総数…………… 250,000,000株
発行済株式の総数…………… 97,683,133株
株主数…………… 12,317名

株式分布状況



大株主の状況

氏名または名称	持株数	持株比率
伊藤忠商事株式会社	29,941千株	31.53%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	4,717千株	4.96%
株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ	2,930千株	3.08%
ドイツ証券株式会社	2,741千株	2.88%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	2,641千株	2.78%
株式会社みずほ銀行	2,085千株	2.19%
日本生命保険相互会社	1,964千株	2.06%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口9）	1,680千株	1.76%
GOLDMAN, SACHS & CO. REG	1,275千株	1.34%
NT RE GOVT OF SPORE INVT CORP P. LTD	1,153千株	1.21%

※持株比率は、発行済株式の総数から自己株式数を減じた株式数（94,931,803株）を基準に算出しております。

会社概要 (2011年8月31日現在)



商号	株式会社ファミリーマート
本店所在地	〒170-6017 東京都豊島区東池袋三丁目1番1号
設立年月日	1981年9月1日
資本金	166億58百万円
事業目的	フランチャイズシステムによるコンビニエンスストア事業
チェーン全店売上高 (単体)	1兆4,404億57百万円 (2010年度)
店舗数	18,858店 (国内外エリアフランチャイザー含む)
従業員数	3,447名
国内エリアフランチャイザー	株式会社北海道ファミリーマート 株式会社南九州ファミリーマート 株式会社沖縄ファミリーマート JR九州リテール株式会社
海外エリアフランチャイザー	全家便利商店股份有限公司 (台湾) BOKWANG FAMILYMART CO., LTD. (大韓民国) Siam FamilyMart Co., Ltd. (タイ王国) 上海福満家便利有限公司 (中華人民共和国) 広州市福満家便利店有限公司 (中華人民共和国) 蘇州福満家便利店有限公司 (中華人民共和国) FAMIMA CORPORATION (アメリカ合衆国) ※ベトナム社会主義共和国において合弁会社VI NA FAMILYMART CO., LTD.を設立しております。

役員		執行役員	
取締役		常務執行役員	
代表取締役社長	上田 準二		潘 進丁 上野 和成 本多 利範 平田 満次
専務取締役 専務執行役員	横田 孝行 宮本 芳樹		
常務取締役 常務執行役員	小部 泰博 加藤 利夫		
取締役 常務執行役員	高田 基生 小坂 雅章 和田 昭則 小松崎行彦 玉巻 裕章	上席執行役員	伊藤 勝夫 岩切 公愛 中平 義人 益子 正吉
			鈴木 久 藤森 正美 木暮 剛彦 杉浦 正憲 市川 透 青木 実 北木 繁久 丸山 直美 菊池 潔 倉又 輝夫 杉浦 真 土方 軌 三浦 英樹 小野塚喜和 池田 知明 鈴木 和夫 竹林 昇
		執行役員	
監査役			
常勤監査役	石黒 正治 田辺 則紀		
監査役	遠藤 隆 高岡 美佳		

株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月
剰余金の配当の基準日	毎年2月末日および8月31日
公告方法	当社のホームページに掲載いたします。 http://www.family.co.jp/
上場証券取引所	東京証券取引所（第一部）
単元株式数	100株
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都中央区八重洲二丁目3番1号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
（郵便物送付先）	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
（電話照会先）	☎ 0120-176-417
（ホームページURL）	http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html

株式に関するお手続きについて

単元未満株式の買取・買増請求、住所変更等のお手続きにつきましては、以下のいずれかにご連絡ください。

【証券会社で口座を開設されている株主さま】

……………当該証券会社にご連絡ください。

【証券会社で口座を開設されていない株主さま】

……株券電子化（施行日：2009年1月5日）により、住友信託銀行株式会社に開設された口座（特別口座）に株式が記録されておりますので、上記の電話照会先にご連絡ください。

ホームページの紹介

<http://www.family.co.jp/>

ホームページでは、商品情報のほか、ニュースリリース、社会貢献・環境活動、投資家情報など当社に関する各種情報を公開しております。



投資家情報

トップページ

株主・投資家の皆さまに当社をご理解いただくための情報を掲載しております。

お客さまとの絆づくりのためソーシャルメディアを活用しております。twitterのほか、Facebook、Mobage、GREE、Ameba、mixiなどにも公式ページを開設しております。



ファミマ公式twitterアカウント

ファミマなう
http://twitter.com/#!/famima_now

キャンペーン情報や新商品の情報を発信しております。



ファミミナート株式会社代表チームの
サポーターカンパニーです。

